

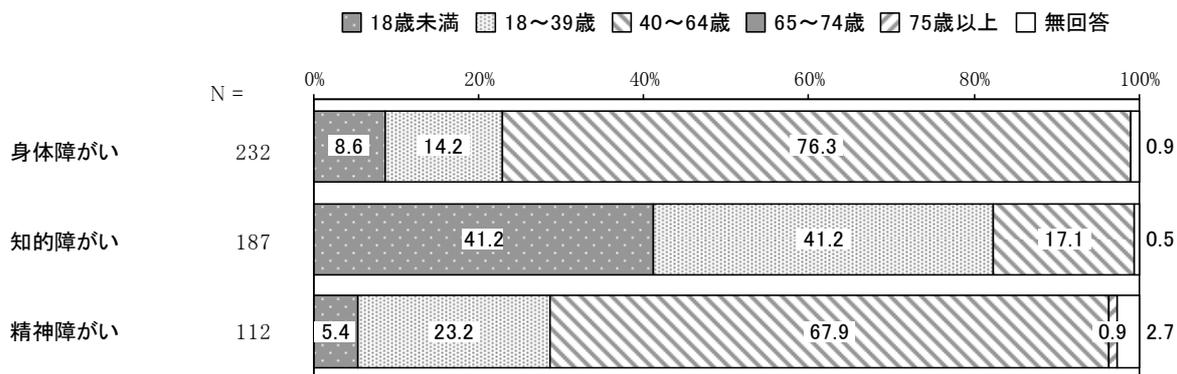
瑞穂市
障がい者のくらしに関するアンケート調査
調査結果報告書
(概要版)

平成 29 年 3 月

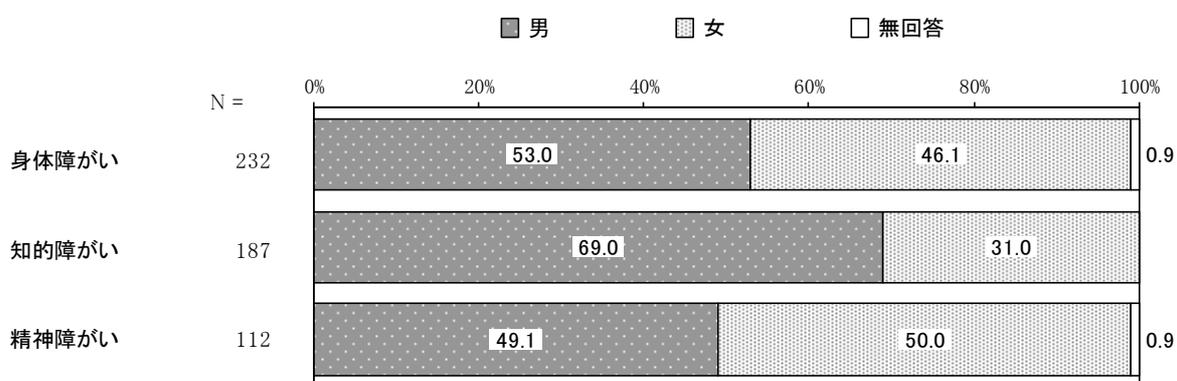
瑞 穂 市

1 回答者属性

問 あなたの年齢は満何歳ですか。(平成29年1月1日現在)



問 あなたの性別は。

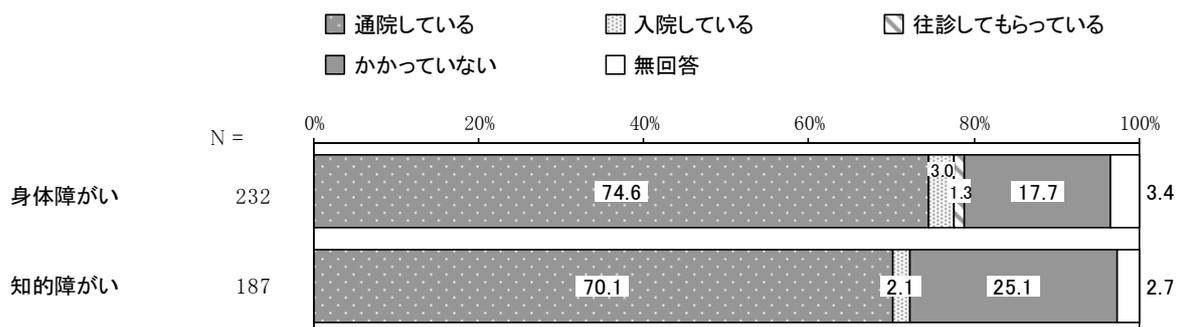


2 医療機関への通院・入院の状況などについて

問 あなたは現在、医療機関にかかっていますか。(○は1つ)【身体・知的】

身体に障がいのある人では、「通院している」の割合が74.6%と最も高く、次いで「かかっていない」の割合が17.7%となっています。

知的障がいのある人では、「通院している」の割合が70.1%と最も高く、次いで「かかっていない」の割合が25.1%となっています。

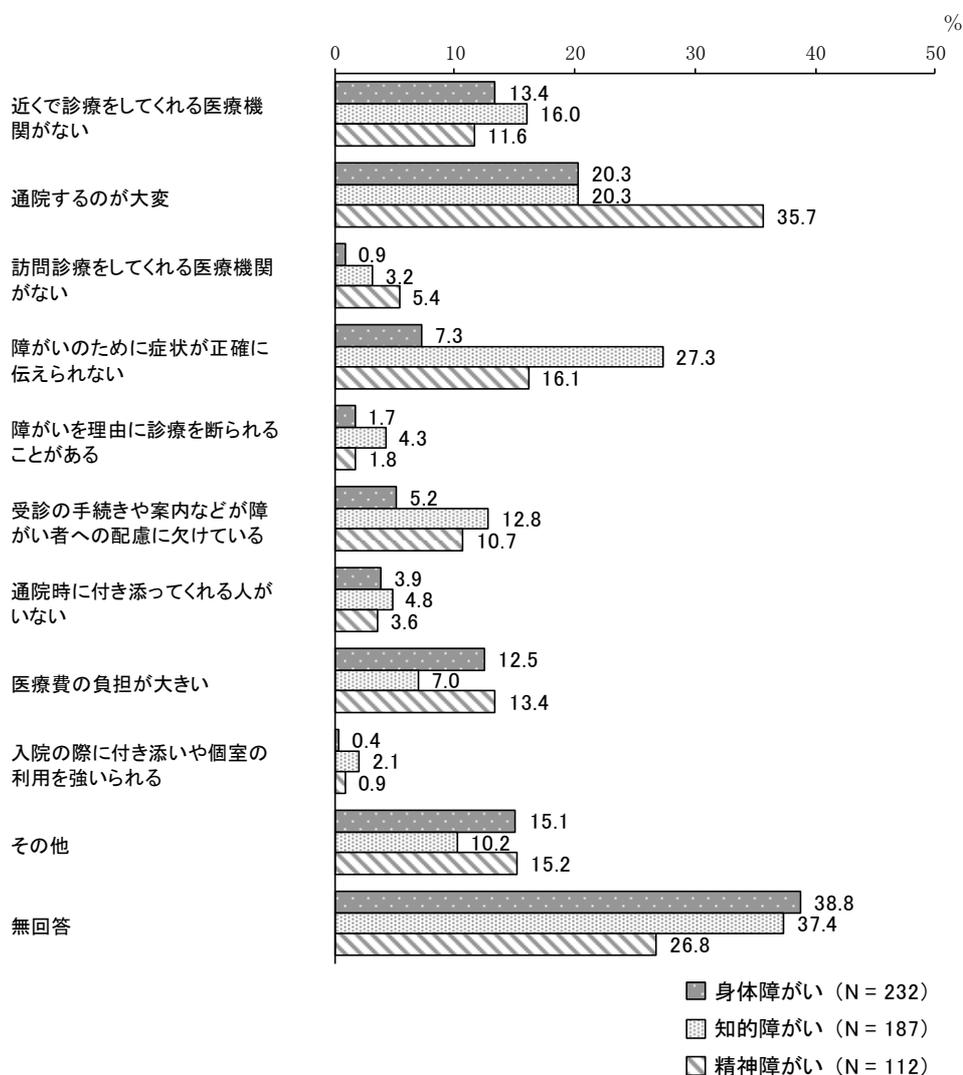


問 医療について、困ったり、不便に思うことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「通院するのが大変」の割合が20.3%と最も高く、次いで「近くで診療をしてくれる医療機関がない」の割合が13.4%、「医療費の負担が大きい」の割合が12.5%となっています。

知的障がいのある人では、「障がいのために症状が正確に伝えられない」の割合が27.3%と最も高く、次いで「通院するのが大変」の割合が20.3%、「近くで診療をしてくれる医療機関がない」の割合が16.0%となっています。

精神に障がいのある人では、「通院するのが大変」の割合が35.7%と最も高く、次いで「障がいのために症状が正確に伝えられない」の割合が16.1%、「医療費の負担が大きい」の割合が13.4%となっています。



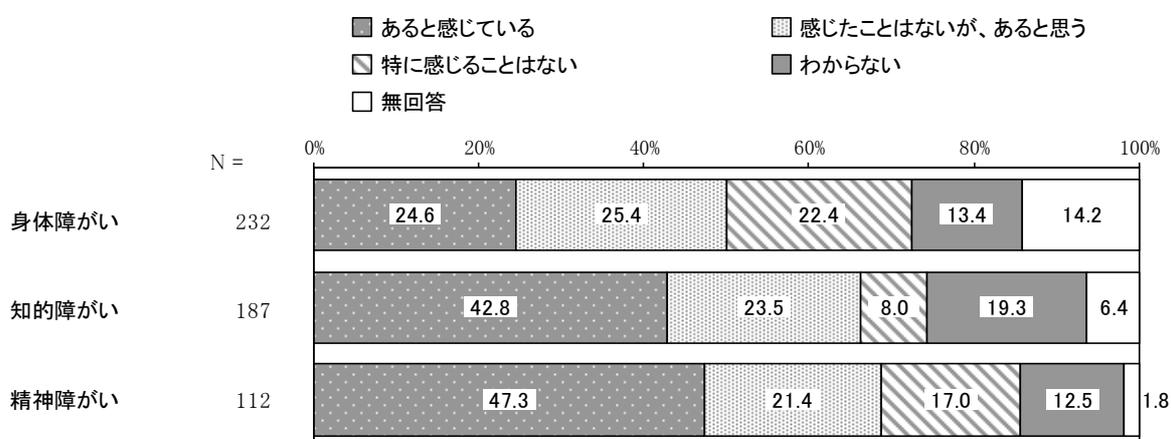
4 日常生活について

問 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに〇)

身体に障がいのある人では、「感じたことはないが、あると思う」の割合が25.4%と最も高く、次いで「あると感じている」の割合が24.6%、「特に感じることはない」の割合が22.4%となっています。

知的障がいのある人では、「あると感じている」の割合が42.8%と最も高く、次いで「感じたことはないが、あると思う」の割合が23.5%、「わからない」の割合が19.3%となっています。

精神に障がいのある人では、「あると感じている」の割合が47.3%と最も高く、次いで「感じたことはないが、あると思う」の割合が21.4%、「特に感じることはない」の割合が17.0%となっています。

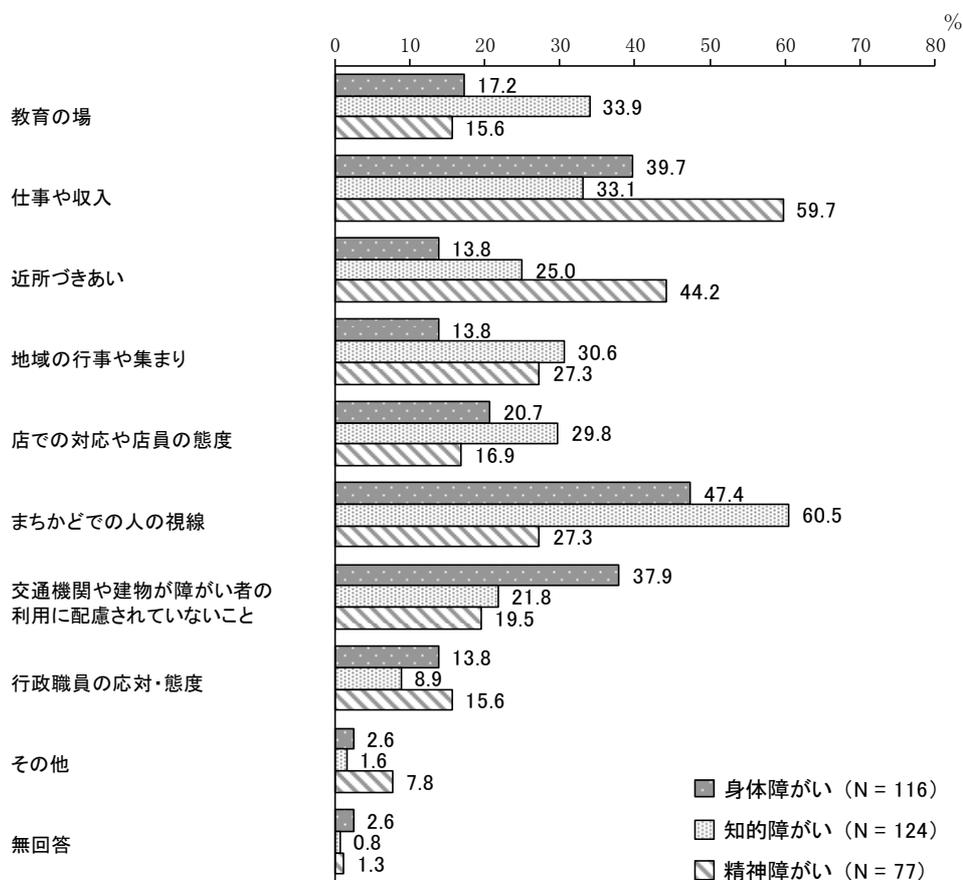


付問 差別や偏見をどのような時に感じますか（あると思いますか）。
（あてはまるものすべてに○）

身体に障がいのある人では、「まちかどでの人の視線」の割合が47.4%と最も高く、次いで「仕事や収入」の割合が39.7%、「交通機関や建物が障がい者の利用に配慮されていないこと」の割合が37.9%となっています。

知的障がいのある人では、「まちかどでの人の視線」の割合が60.5%と最も高く、次いで「教育の場」の割合が33.9%、「仕事や収入」の割合が33.1%となっています。

精神に障がいのある人では、「仕事や収入」の割合が59.7%と最も高く、次いで「近所づきあい」の割合が44.2%、「地域の行事や集まり」、「まちかどでの人の視線」の割合が27.3%となっています。



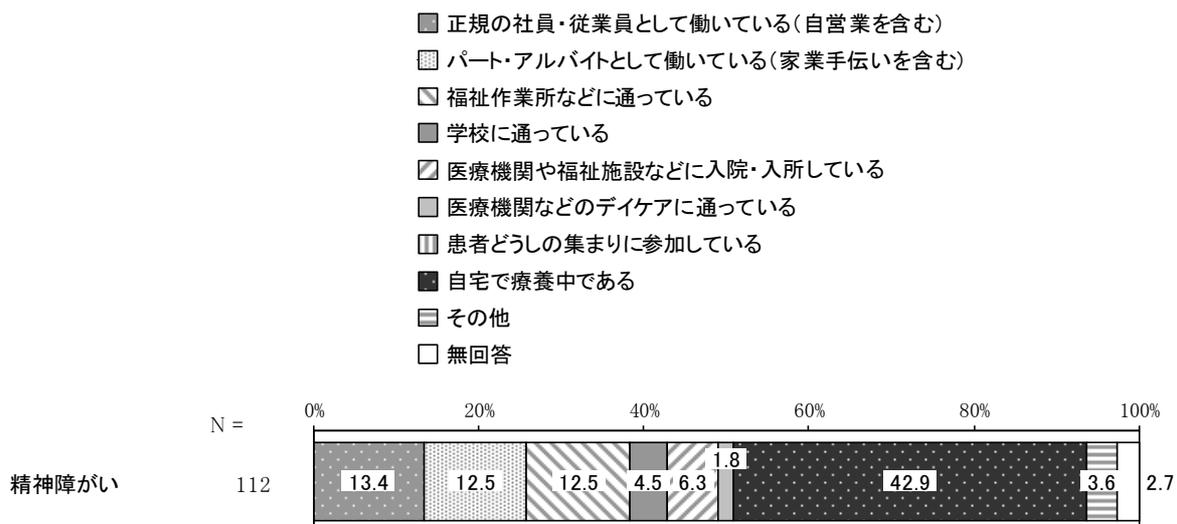
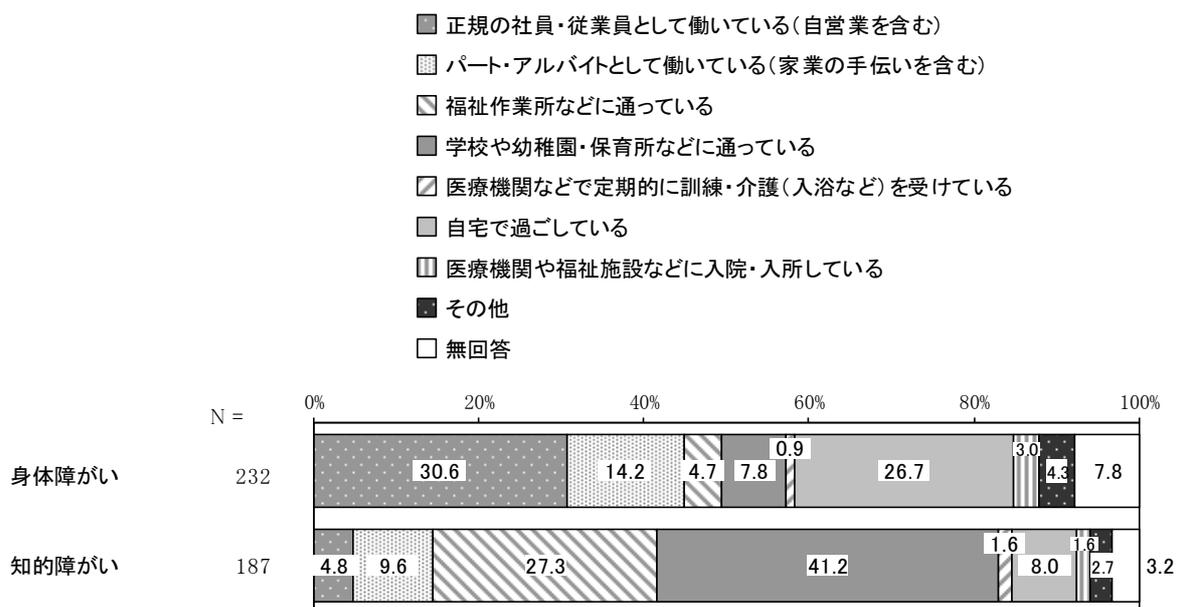
5 就労・就学状況について

問 あなたは、ふだんどのように過ごしていますか。(○は1つ)

身体に障がいのある人では、「正規の社員・従業員として働いている(自営業を含む)」の割合が30.6%と最も高く、次いで「自宅で過ごしている」の割合が26.7%、「パート・アルバイトとして働いている(家業の手伝いを含む)」の割合が14.2%となっています。

知的障がいのある人では、「学校や幼稚園・保育所などに通っている」の割合が41.2%と最も高く、次いで「福祉作業所などに通っている」の割合が27.3%となっています。

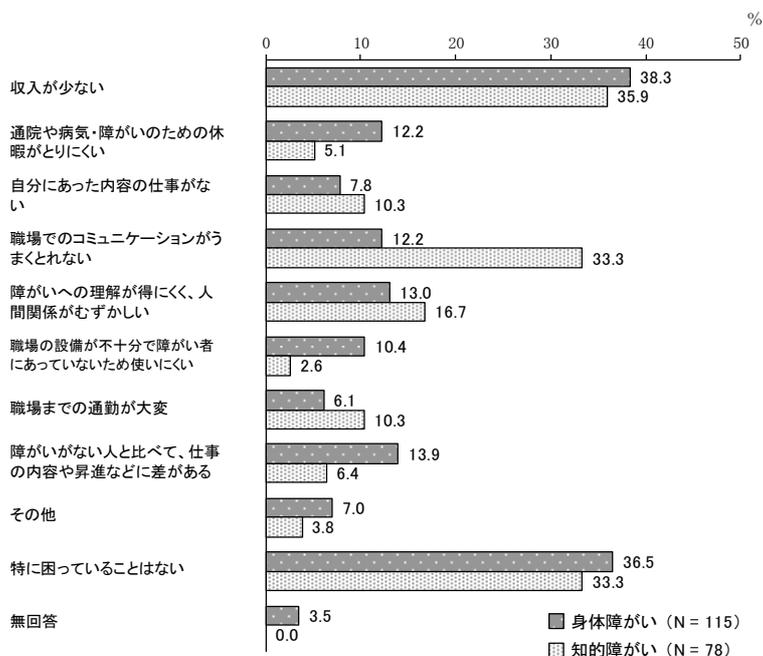
精神に障がいのある人では、「自宅で療養中である」の割合が42.9%と最も高く、次いで「正規の社員・従業員として働いている(自営業を含む)」の割合が13.4%となっています。



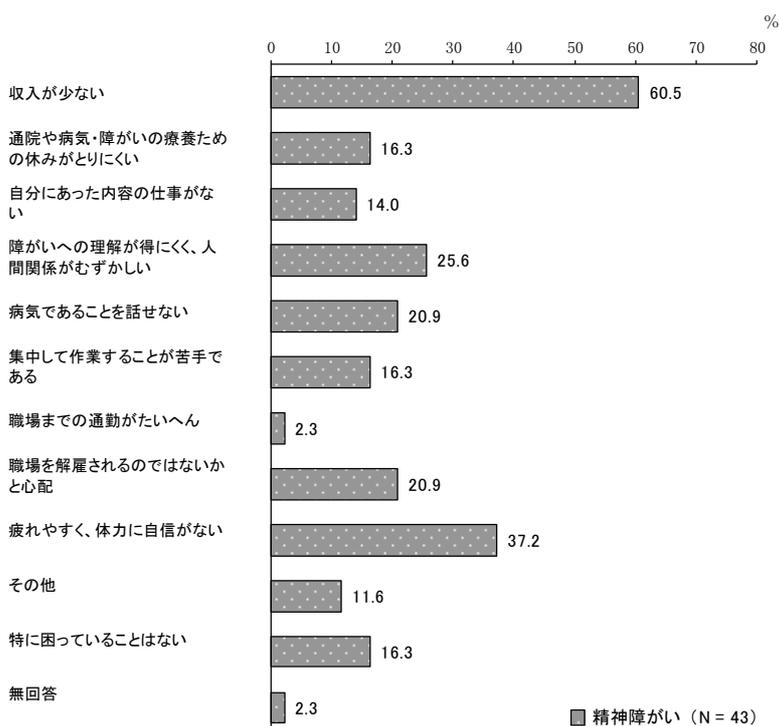
付問 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「収入が少ない」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」の割合が 36.5%、「障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある」の割合が 13.9%となっています。

知的障がいのある人では、「収入が少ない」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」、「特に困っていることはない」の割合が 33.3%となっています。



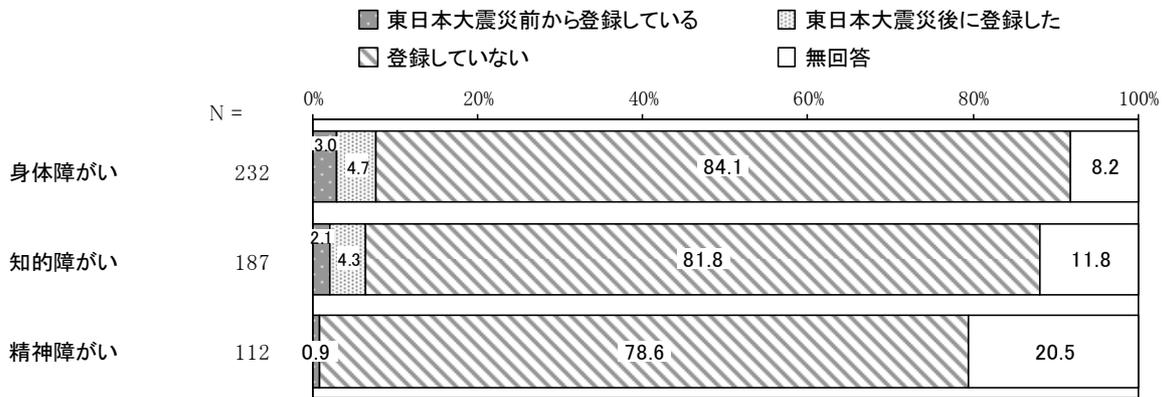
精神に障がいのある人では、「収入が少ない」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「疲れやすく、体力に自信がない」の割合が 37.2%、「障がいへの理解が得にくく、人間関係がむずかしい」の割合が 25.6%となっています。



6 災害時の支援について

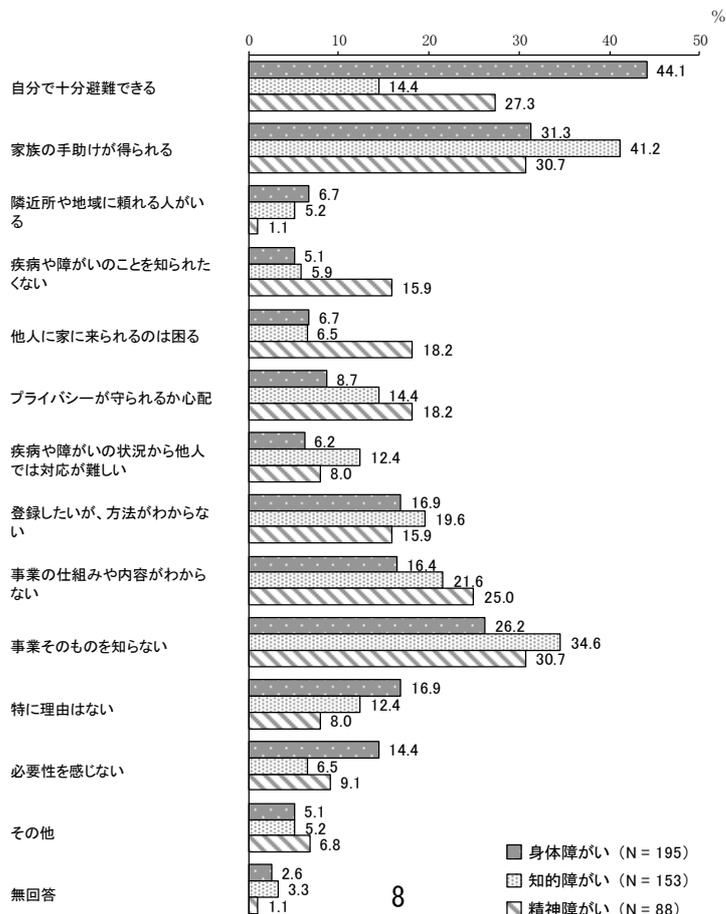
問 あなたは、避難行動要支援者名簿に登録していますか。(1つに○)

身体に障がいのある人では、「登録していない」の割合が84.1%と最も高くなっています。
 知的障がいのある人では、「登録していない」の割合が81.8%と最も高くなっています。
 精神に障がいのある人では、「登録していない」の割合が78.6%と最も高くなっています。



付問 登録していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「自分で十分避難できる」の割合が44.1%と最も高く、次いで「家族の手助けが得られる」の割合が31.3%となっています。知的障がいのある人では、「家族の手助けが得られる」の割合が41.2%と最も高く、次いで「事業そのものを知らない」の割合が34.6%、となっています。精神に障がいのある人では、「家族の手助けが得られる」、「事業そのものを知らない」の割合が30.7%と最も高くなっています。



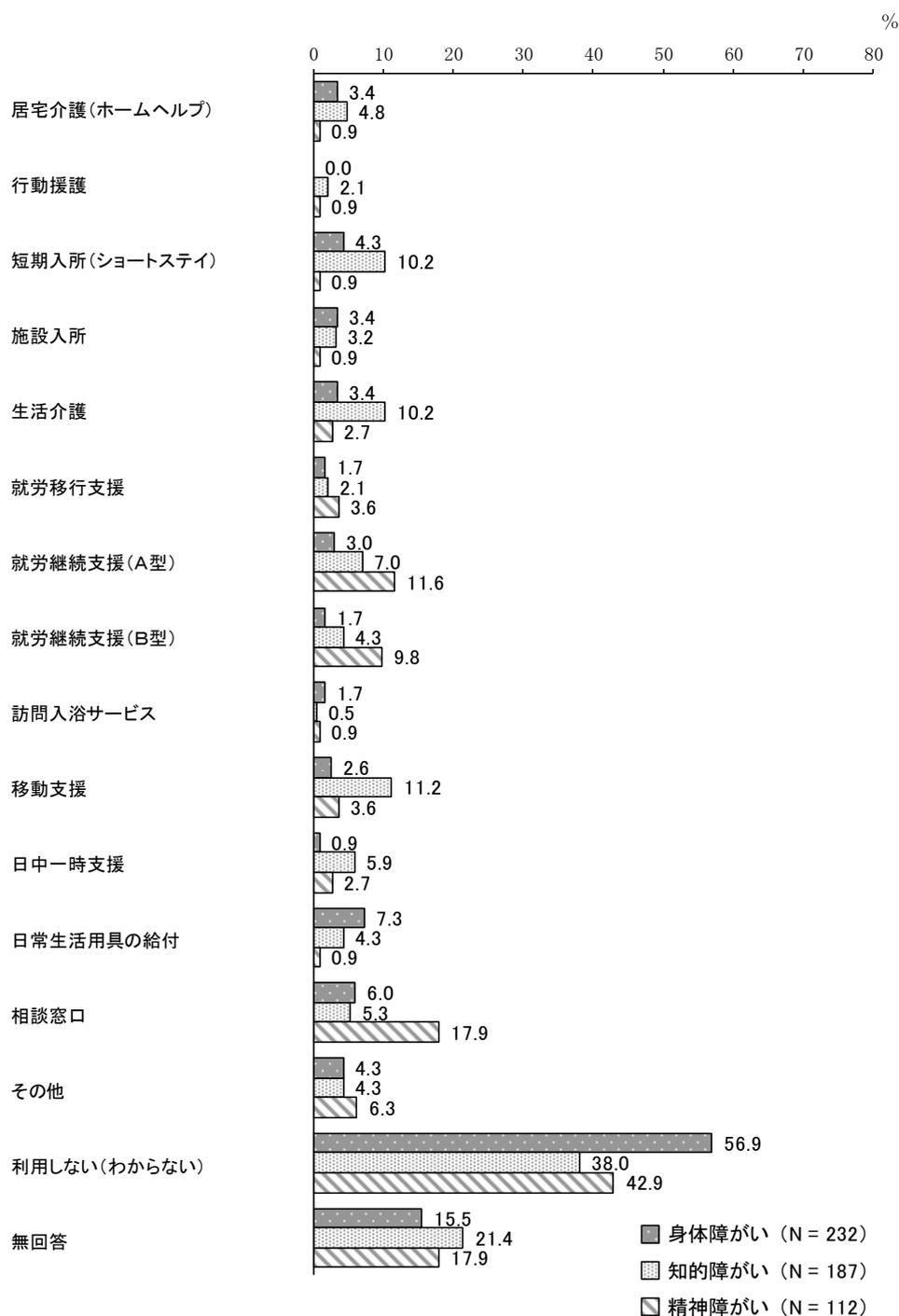
7 今後のサービス利用意向について

問 現在利用しているサービスのうち、今後も利用したいもの、あるいはサービスの量を増やしたいと考えているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「利用しない(わからない)」の割合が56.9%と最も高くなっています。

知的障がいのある人では、「利用しない(わからない)」の割合が38.0%と最も高く、次いで「移動支援」の割合が11.2%、「短期入所(ショートステイ)」、「生活介護」の割合が10.2%となっています。

精神に障がいのある人では、「利用しない(わからない)」の割合が42.9%と最も高く、次いで「相談窓口」の割合が17.9%、「就労継続支援(A型)」の割合が11.6%となっています。



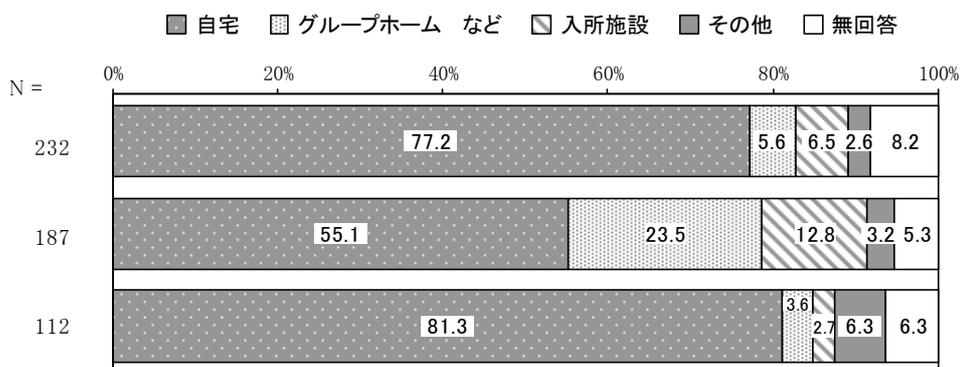
8 今後の生活と必要な支援について

問 あなたは、将来の生活をどのように過ごしたいとお考えですか。(〇は1つ)

身体に障がいのある人では、「自宅」の割合が77.2%と最も高くなっています。

知的障がいのある人では、「自宅」の割合が55.1%と最も高く、次いで「グループホーム など」の割合が23.5%、「入所施設」の割合が12.8%となっています。

精神に障がいのある人では、「自宅」の割合が81.3%と最も高くなっています。

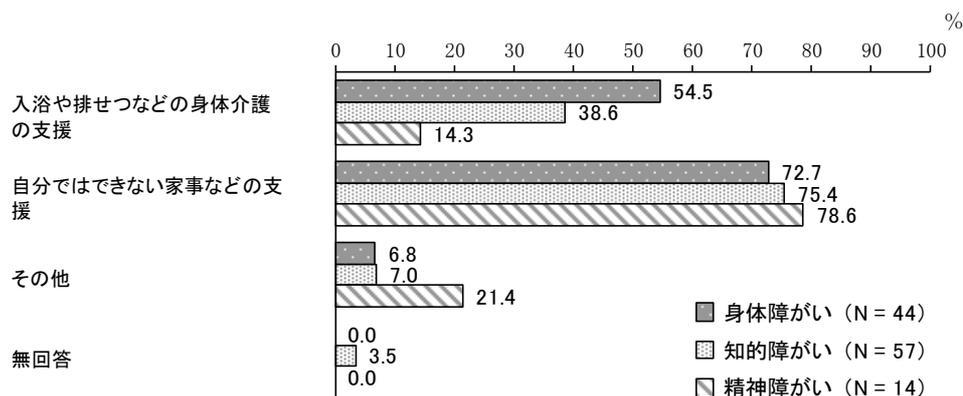


付問 どんな支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに〇)

身体に障がいのある人では、「入浴や排せつなどの身体介護の支援」の割合が54.5%、「自分ではできない家事などの支援」の割合が72.7%となっています。

知的障がいのある人では、「入浴や排せつなどの身体介護の支援」の割合が38.6%、「自分ではできない家事などの支援」の割合が75.4%となっています。

精神に障がいのある人では、「入浴や排せつなどの身体介護の支援」の割合が14.3%、「自分ではできない家事などの支援」の割合が78.6%となっています。



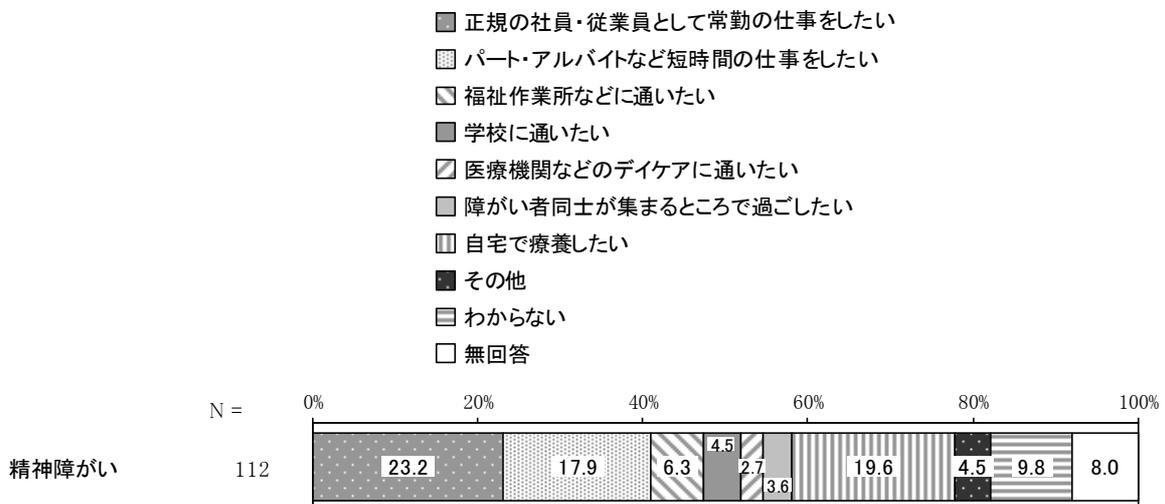
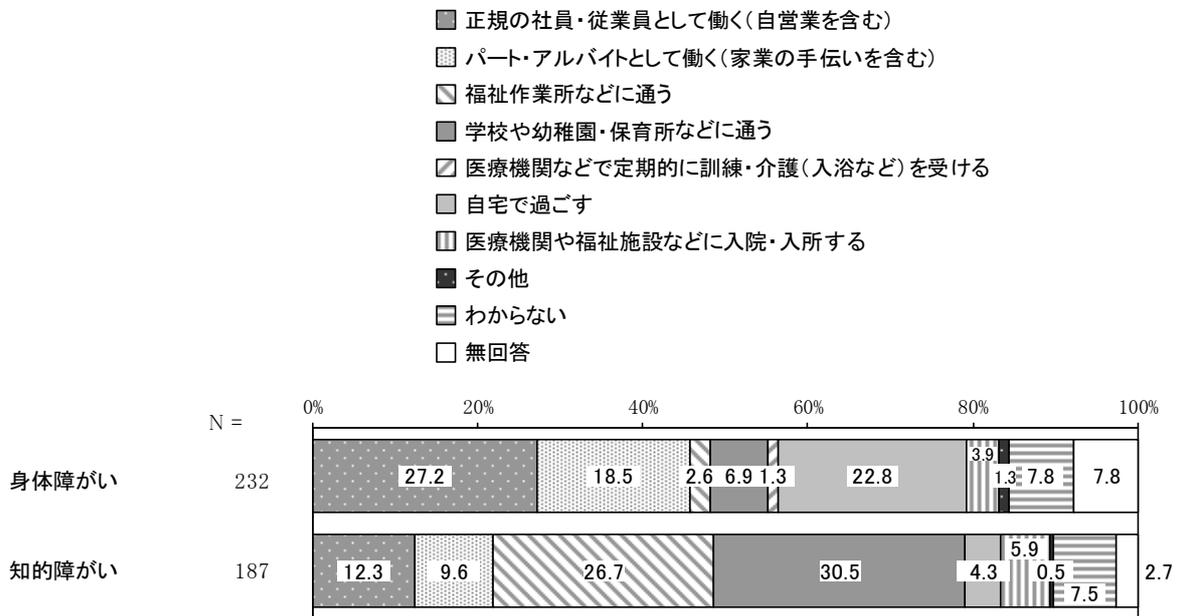
9 日中の過ごし方と働くために必要な環境について

問 あなたは、今後、日中どのように過ごしたいですか。(○は1つ)

身体に障がいのある人では、「正規の社員・従業員として働く(自営業を含む)」の割合が27.2%と最も高く、次いで「自宅で過ごす」の割合が22.8%、「パート・アルバイトとして働く(家業の手伝いを含む)」の割合が18.5%となっています。

知的障がいのある人では、「学校や幼稚園・保育所などに通う」の割合が30.5%と最も高く、次いで「福祉作業所などに通う」の割合が26.7%、「正規の社員・従業員として働く(自営業を含む)」の割合が12.3%となっています。

精神に障がいのある人では、「正規の社員・従業員として常勤の仕事をしたい」の割合が23.2%と最も高く、次いで「自宅で療養したい」の割合が19.6%、「パート・アルバイトなど短時間の仕事をしたい」の割合が17.9%となっています。

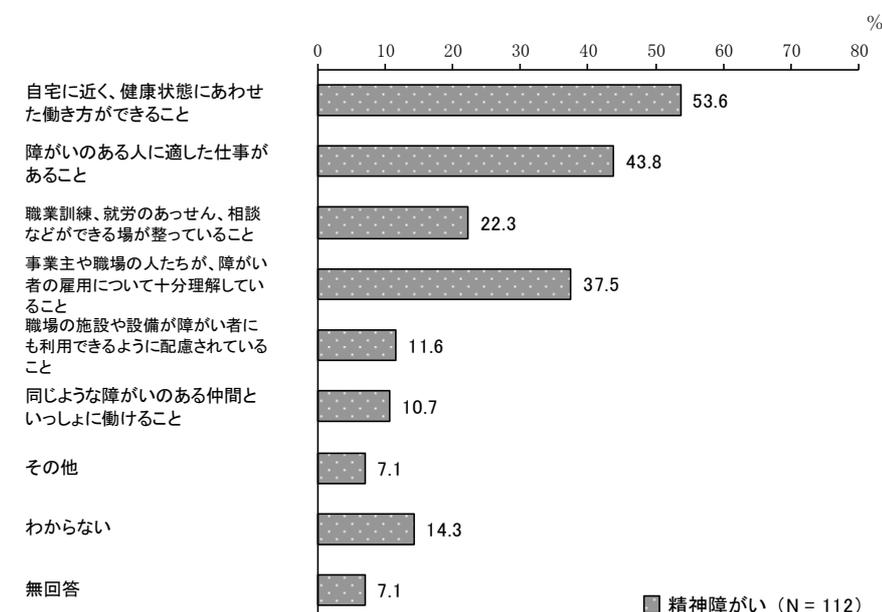
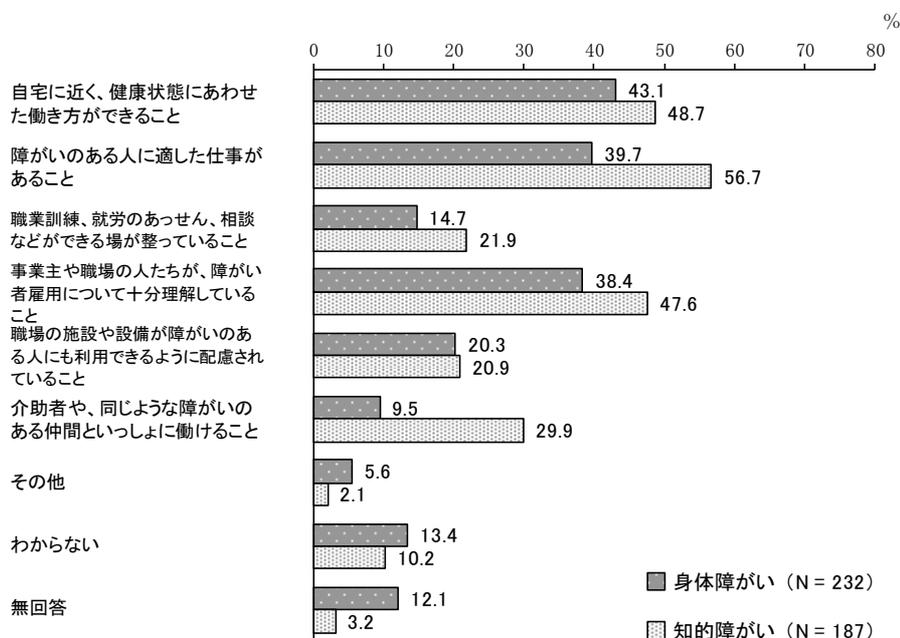


問 あなたが働くために、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。
(おもなもの3つに○)

身体に障がいのある人では、「自宅に近く、健康状態にあわせた働き方ができること」の割合が43.1%と最も高く、次いで「障がいのある人に適した仕事があること」の割合が39.7%、「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」の割合が38.4%となっています。

知的障がいのある人では、「障がいのある人に適した仕事があること」の割合が56.7%と最も高く、次いで「自宅に近く、健康状態にあわせた働き方ができること」の割合が48.7%、「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」の割合が47.6%となっています。

精神に障がいのある人では、「自宅に近く、健康状態にあわせた働き方ができること」の割合が53.6%と最も高く、次いで「障がいのある人に適した仕事があること」の割合が43.8%、「事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること」の割合が37.5%となっています。



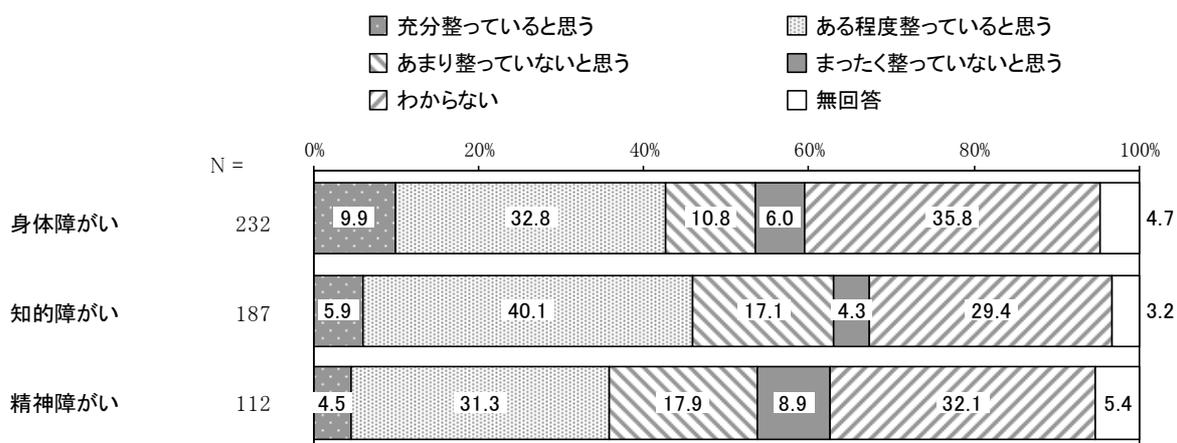
10 相談ごとについて

問 困っていることについて相談しやすい体制が整っていると思いますか。(1つに○)

身体に障がいのある人では、「わからない」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「ある程度整っていると思う」の割合が 32.8%、「あまり整っていないと思う」の割合が 10.8%となっています。

知的障がいのある人では、「ある程度整っていると思う」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 29.4%、「あまり整っていないと思う」の割合が 17.1%となっています。

精神に障がいのある人では、「わからない」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「ある程度整っていると思う」の割合が 31.3%、「あまり整っていないと思う」の割合が 17.9%となっています。



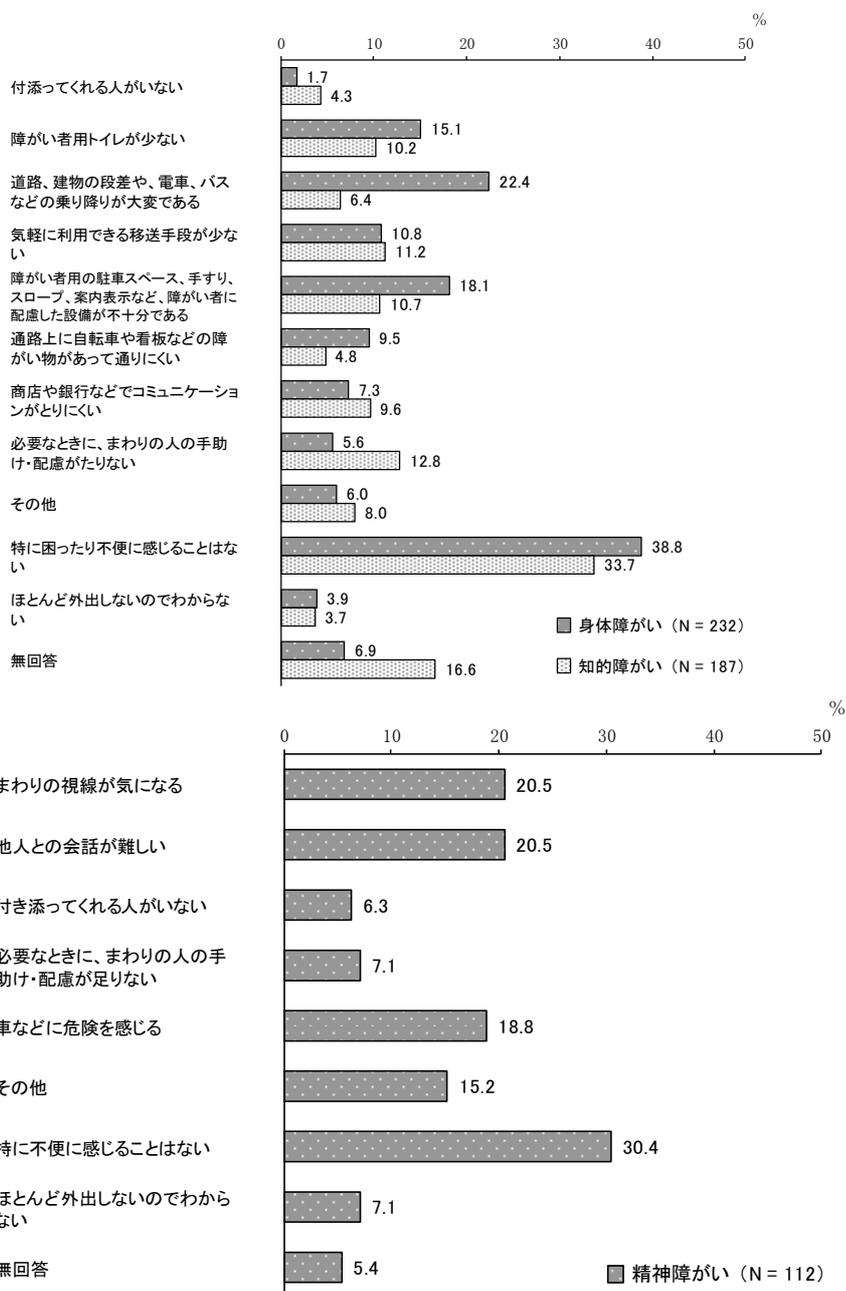
11 外出の状況について

問 外出の際に困ったり、不便に感じることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「特に困ったり不便に感じることはない」の割合が38.8%と最も高く、次いで「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」の割合が22.4%となっています。

知的障がいのある人では、「特に困ったり不便に感じることはない」の割合が33.7%と最も高く、次いで「必要なときに、まわりの人の手助け・配慮がたりない」の割合が12.8%っています。

精神に障がいのある人では、「特に不便に感じることはない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「まわりの視線が気になる」「他人との会話が難しい」の割合が20.5%となっています。

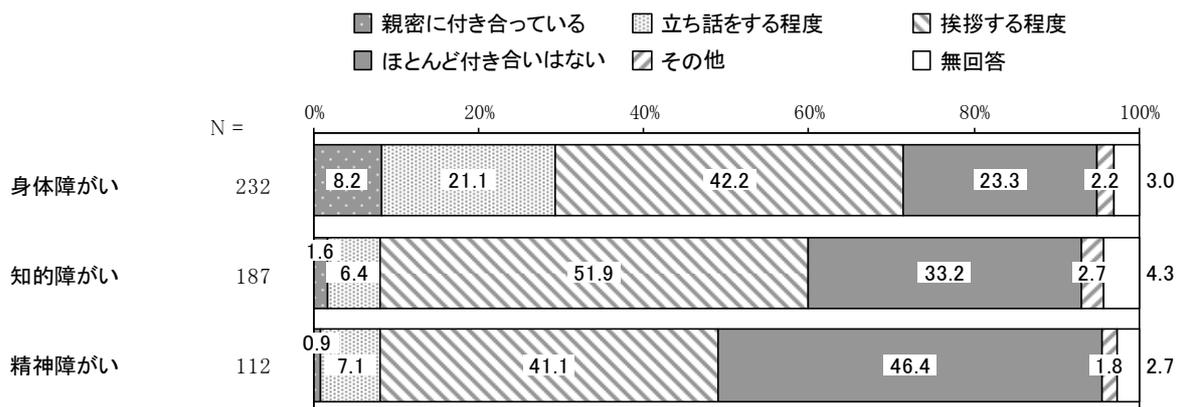


問 ご近所付き合いについて伺います。あなたは、ご近所とどの程度お付き合いをしていますか。（最も近いもの1つに○）

身体に障がいのある人では、「挨拶する程度」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「ほとんど付き合いはない」の割合が 23.3%、「立ち話をする程度」の割合が 21.1%となっています。

知的障がいのある人では、「挨拶する程度」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「ほとんど付き合いはない」の割合が 33.2%となっています。

精神に障がいのある人では、「ほとんど付き合いはない」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「挨拶する程度」の割合が 41.1%となっています。

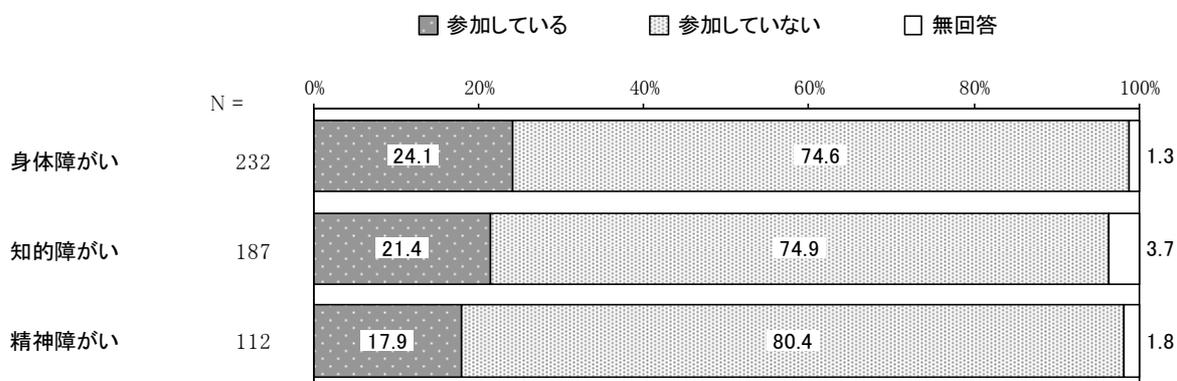


問 あなたは現在、趣味や地域の活動に参加していますか。（1つに○）

身体に障がいのある人では、「参加している」の割合が 24.1%、「参加していない」の割合が 74.6%となっています。

知的障がいのある人では、「参加している」の割合が 21.4%、「参加していない」の割合が 74.9%となっています。

精神に障がいのある人では、「参加している」の割合が 17.9%、「参加していない」の割合が 80.4%となっています。

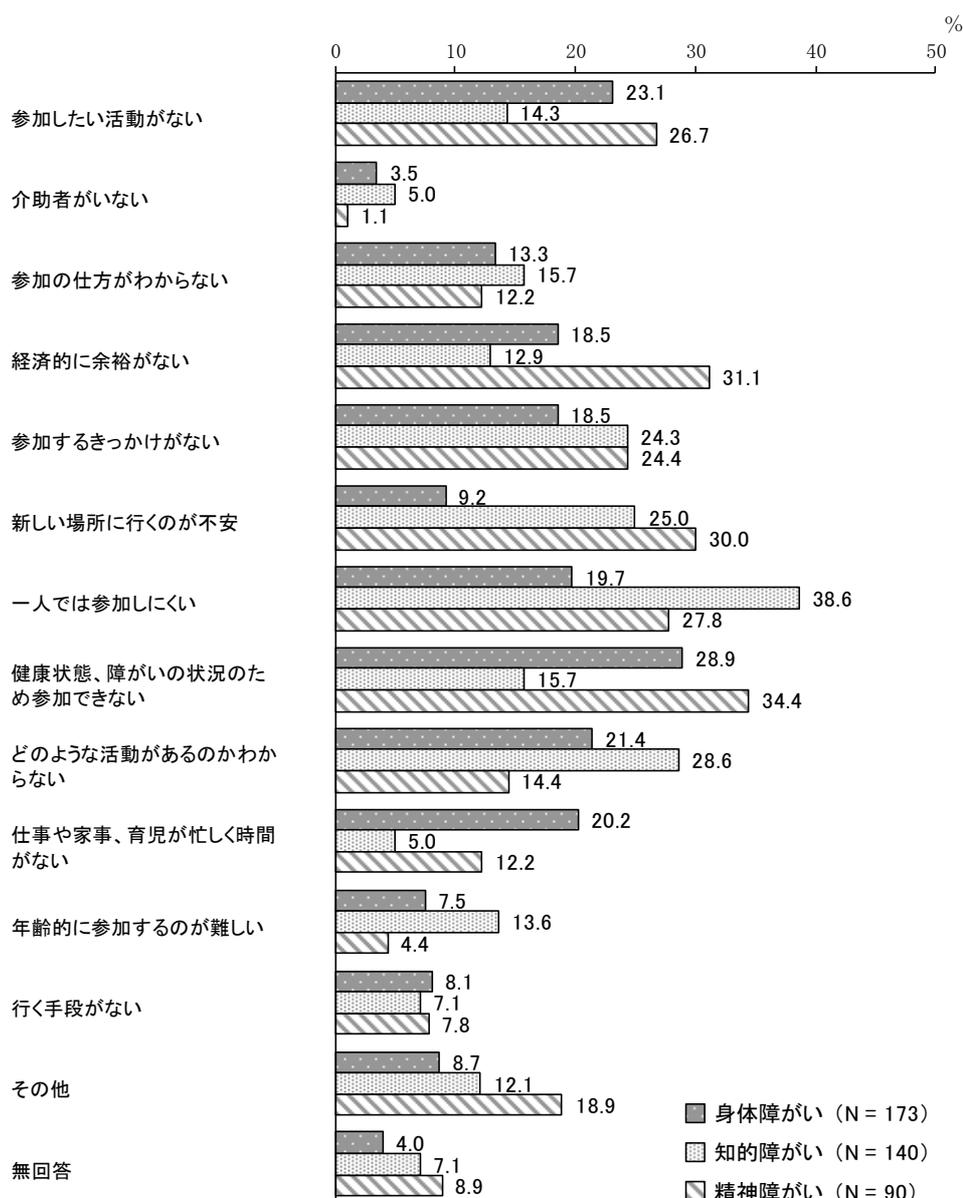


付問 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「健康状態、障がいの状況のため参加できない」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「参加したい活動がない」の割合が 23.1%、「どのような活動があるのかわからない」の割合が 21.4%となっています。

知的障がいのある人では、「一人では参加しにくい」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「どのような活動があるのかわからない」の割合が 28.6%、「新しい場所に行くのが不安」の割合が 25.0%となっています。

精神に障がいのある人では、「健康状態、障がいの状況のため参加できない」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「経済的に余裕がない」の割合が 31.1%、「新しい場所に行くのが不安」の割合が 30.0%となっています。



問 あなたが今後、参加したい活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

身体に障がいのある人では、「スポーツ(水泳、ハイキングなど)」の割合が15.5%と最も高く、次いで「パソコン講習」の割合が12.9%、「音楽(合唱、楽器演奏など)」、「料理教室」の割合が11.6%となっています。

知的障がいのある人では、「スポーツ(水泳、ハイキングなど)」の割合が25.7%と最も高く、次いで「音楽(合唱、楽器演奏など)」の割合が19.3%、「料理教室」の割合が13.9%となっています。

精神に障がいのある人では、「スポーツ(水泳、ハイキングなど)」の割合が23.2%と最も高く、次いで「パソコン講習」の割合が16.1%、「音楽(合唱、楽器演奏など)」の割合が12.5%となっています。

